

# 未来への協働

2022年6月8日(水)  
第343号

発行所 未来への協働  
ホームページ  
https://kyodomirai.org  
〒577-0023  
大阪府東大阪市荒本2丁目14-5  
電話/FAX  
(06) 4306-3512  
郵便振替  
00940-8-213061  
Eメール  
mirai\_newsroom@yahoo.co.jp  
●発行人 山本 康

●第2・4水曜日発行  
●200円(本体182円)  
●定期購読 購読料(送料別)  
1月 400円(送料188円)  
半年 2,400円(送料1,128円)  
1年 4,800円(送料2,256円)

## 今号の主な内容

- 2面 今こそ労働組合 関生支部決起集会
- 3面 誰も戦争を望まない 伊藤武是さん②
- 4面 「企業は株主に報いる。雇用は考えない」
- 5面 ウトロ平和祈念館オープン
- 5・15沖繩 求めた自治はまだ遠い

紙面へのご意見、感想を  
上記発行所までお寄せください。FAXでも送れます(電話番号と同じ)。詩、短歌、川柳、写真なども募集しています。

# 命ある限り核廃絶求める

## 原告 「黒い雨」訴訟にかけた思い



原告  
高東征二さん

5月21日、大阪府高槻市にて「広島、長崎から福島へ続く被害―内部被ばくの危険性を考える―」集会が開かれた。被爆者健康手帳交付を求めた「原爆『黒い雨』訴訟」の原告であり、支援する会の事務局長の高東征二さん(写真)の講演と、高東さんと一緒に「黒い雨」体験の聞き取り、取材を行ってきた毎日新聞の記者・小山美砂さんの話があった。(小山さんは広島支局からこの4月大阪本社に異動)。

会場には青森、名古屋など遠方からの参加もあり、1000人近くが集まった。

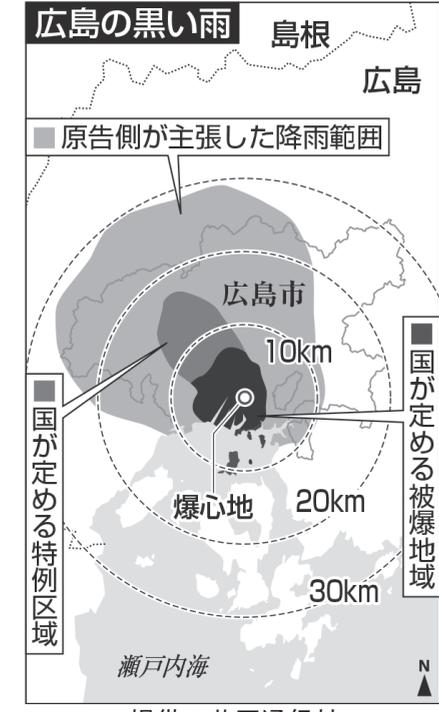
1945年8月6日、爆心地から9キロ西の広島市旧観音村(現佐伯区)に住んでいた高東さんは当時4歳。そこで「黒い雨」を浴びた。小学生の頃にリンパ節が腫れ、3度の手術を経験した。2002年、「佐伯地区黒い雨の会」を立ち上げた。

近所に住む人が体調を崩したり、病気がどうかわからない人がいる。軒一軒訪ねて聞き取り調査をはじめた。会に集まった人が次々と自分の体験を語った。あと何日生きられるのかわからないという深刻な状況の人もいた。

「黒い雨地域拡大」を求める署名を集めて、広島県や広島市議会に提出した。しかし厚労省が認めなかった。2015年11月、高東さんは裁判に訴えることにした。放射線微粒子が体内に入り、外部被ばくする状況であったと訴え、5年4カ月の裁判をたたかった。

住民の中で「裁判」のことがわからない人には、高東さんが説明した。2020年7月、広島地裁で勝訴判決が出た。2020年7月、広島地裁で勝訴判決が出た。2020年7月、広島地裁で勝訴判決が出た。

「黒い雨訴訟を支援する会」は「黒い雨被害者を支援する会」に改称した。高東さんは、原告以外も救済するよう求めて、今もたたかっている。



提供：共同通信社



裁判闘争を報告する草地妙子さん(5月29日)

「黒い雨訴訟を支援する会」は「黒い雨被害者を支援する会」に改称した。高東さんは、原告以外も救済するよう求めて、今もたたかっている。

「黒い雨」訴訟を聞き、4億円かけて援護対象区域を「再検証」と言っている。内部被ばくを認めないためだ。いったい何度、被爆者を踏みつけたら気が済むのか。

高東さんは、76年たっても控訴して裁判を長引かせ、被爆者が亡くなるのを待っているとしたかと思えない。怒りをおぼせる。

小山美砂さんの話にもあったが、国は被爆の問題を隠し、援護対象を広げさせないために「科学的、合理的根拠」を持ち出して、被爆をなかったことにしようとしている。最後に、体調がすぐれない中で来阪した高東さんは、「命のある限り核廃絶を求め、被爆に苦しめられなくなった多くの人のことを、講演を聞きに来た人たちが広島を訪れた修学旅行生たちに話していき」と力強く語られた。広島出身の私には、高東さんの懐かしさ、津波に対する安全性の基準を満たしていないことが、放射能漏れ事故で住民の人格権が侵害される具体的な危険性があることを認めた。

北海道電力が再稼働を目指している泊原発(北海道泊村)1・3号機の運転差し止めを命じた。谷口哲也裁判長は、「12メートルの津波が想定されるのに、泊原発には津波防護施設が存在せず、津波に対する安全性の基準を満たしていない」として、放射能漏れ事故で住民の人格権が侵害される具体的な危険性があることを認めた。

### 老朽原発ただちに廃炉

5月29日 大阪で集会2100人

運転開始から40年を超える老朽原発の廃炉を求める集会が大阪市西区の鞆公園で開かれ、2100人が参加した。集会後、デモ行進で市民力を行動に移そう」と参加者に訴えた。最後に「原3号機の廃炉を求めて名発のない明日を」というスローガンを採択した。

安全保障の上で大きな役割を求めた。岸田首相は、「軍備費を相当額増額したい」と答えている。誰にたいして約束しているのか。国民と対話する前に、なんでアメリカに約束するのだ。軍事費の増強は、そのまま「憲法9条」の中身を変える議論に繋がる。ロシアのウクライナ侵略に乗じて危機感を煽り、「有事」の際はアメリカと協力することが日本の「防衛」である。あなたも、植えていく。▼本場にそ

草地妙子さん(写真)は、「関電のずさんな試験の実態が裁判で明らかになった。規制委員会はそれを鵜呑みにしてきた。声を発し、市民の力を行動に移そう」と参加者に訴えた。最後に「原3号機の廃炉を求めて名発のない明日を」というスローガンを採択した。

アメリカのバイデン大統領が来日、日米首脳会談が行われた。バイデン氏は、日本に対してアジアの安全保障の上で大きな役割を求めた。岸田首相は、「軍備費を相当額増額したい」と答えている。誰にたいして約束しているのか。国民と対話する前に、なんでアメリカに約束するのだ。軍事費の増強は、そのまま「憲法9条」の中身を変える議論に繋がる。ロシアのウクライナ侵略に乗じて危機感を煽り、「有事」の際はアメリカと協力することが日本の「防衛」である。あなたも、植えていく。▼本場にそ

### 扇状地

アメリカのバイデン大統領が来日、日米首脳会談が行われた。バイデン氏は、日本に対してアジアの安全保障の上で大きな役割を求めた。岸田首相は、「軍備費を相当額増額したい」と答えている。誰にたいして約束しているのか。国民と対話する前に、なんでアメリカに約束するのだ。軍事費の増強は、そのまま「憲法9条」の中身を変える議論に繋がる。ロシアのウクライナ侵略に乗じて危機感を煽り、「有事」の際はアメリカと協力することが日本の「防衛」である。あなたも、植えていく。▼本場にそ

# 今こそ、労働組合

## 関生支部主催で決起集会

5月28日

会場は満席、第2会場も用意された。400人を超える労働者、市民が全国から集まった。関西生コン・湯川委員長が主催者あいさつ。「18年から延べ80人以上の組合員が逮捕され、10数件の民事、労働委員会闘争を行っている。どんな状況になっても徹底的にやろう。今日は、18年以来的の関生支部主催の集会。これからもやっていく。現場組合員の生の声を聞いてほしい」と訴えた。

永嶋靖久弁護士が全事



大阪府警前までデモ行進 (5月28日)

【憲法よりも先に労働組合ができた】  
日本で初めて労働者の団結権と団体交渉権を認める労働組合法が制定されたのは1945年12月



不当判決に抗議する当該

不当判決に抗議する当該  
「車両の前に立ちふさぐという論述に、「論外だ。がっていない。威力業務裁判所は労働法も知らな妨害の『威力』に当たらないのか」という声が。憲法27条(勤労権、労働三権)、28条(団結権、団体行動権)に、明記されていることは何なのか。控訴審で裁判所は証人調べる認めず、体行動権)に、明記されていることは何なのか。組合による抗議行動についても行為の目的、どの怒りを禁じ得ない。『どんな判決にも1歩も引かない』『ストライキを当たり前にするな』」

5月11日と25日の昼休みの時間帯にサンケン電気大阪支店に対する抗議闘争が取り組まれた。呼びかけは韓国サンケン労組を支援する大阪市民の会。11日は20人が参加。韓国サンケン労組の仲間

各職場報告が10数人から行なわれた。関西生コン支部の組合員は、4年に及ぶ組合つぶしのなか、逮捕され解雇され、工場閉鎖、不当な攻撃を受けてきた。苦しい中の仲間の脱落、かつての仲間の裏切りへの怒り、悔しさ、支部の仲間への信頼などの思いが述べられた。(高崎)

関西生コン弾圧(第1次事件・威力業務妨害罪)に対する大阪高裁控訴審(5月23日)は、控訴棄却の不当判決だった。一審は、副委員長、執行委員はじめ7人が、懲役1年6か月、2年、執行猶予3〜4年の重罪判決。連帯ユニオン関西生コン支部はじめ労働組合、市民団体が高裁前に集まった。「控訴棄却」の判決に座り込み参加者から、抗議のシュプレヒコールがあった。判官の「判断は」時代によって変わり得る」と

「世界」6月号の特集は「核軍縮というリアリティ」だった。ロシアのウクライナ侵襲から3日後、プーチンが核兵器の運用部隊に「戦闘警戒態勢」を指示した。第4次中東戦争(73年)の際、ソ連の介入阻止のためアメリカは5段階のデフコン(防衛準備態勢)を4から3に引き上げ、現場発射管制官に「50発のICBM(大陸間弾道ミサイル)を発射できるよう最終準備せよ」の命令が届いたという。ロシアも同じような態勢に入ったと思われる。

韓国サンケン労組支援 株主総会闘争へ  
から届いたメッセージでは「闘いは苦しいけれど、日本の労働者、市民の支援に励まされている。日本仲間に会って話をし、楽しんでいる」と。25日も20人が参加(写真)。支店前に韓国の労働歌が流れた。6月の株主総会にむけて、「韓国サンケン労組と話し合い、争議の解決をはかれ」と訴えた。

「世界」6月号の特集は「核軍縮というリアリティ」だった。ロシアのウクライナ侵襲から3日後、プーチンが核兵器の運用部隊に「戦闘警戒態勢」を指示した。第4次中東戦争(73年)の際、ソ連の介入阻止のためアメリカは5段階のデフコン(防衛準備態勢)を4から3に引き上げ、現場発射管制官に「50発のICBM(大陸間弾道ミサイル)を発射できるよう最終準備せよ」の命令が届いたという。ロシアも同じような態勢に入ったと思われる。

「世界」6月号の特集は「核軍縮というリアリティ」だった。ロシアのウクライナ侵襲から3日後、プーチンが核兵器の運用部隊に「戦闘警戒態勢」を指示した。第4次中東戦争(73年)の際、ソ連の介入阻止のためアメリカは5段階のデフコン(防衛準備態勢)を4から3に引き上げ、現場発射管制官に「50発のICBM(大陸間弾道ミサイル)を発射できるよう最終準備せよ」の命令が届いたという。ロシアも同じような態勢に入ったと思われる。

### OPINION 核抑止力論の虚妄 日本市民の使命は

シミュレーションでは、1発の核の警告発射を引きがねに世界規模の核戦争となり、数時間で9000万人の死傷者が出る予測。ICANの川崎氏は、「この核戦争への可能性と背中合わせの崖っぷち」から撤退、19年に中距離核戦力全廃条約から離脱し、20年に世界終末条約から離脱し、20年「祈りの鶴」だった。日本の市民は、核廃絶を願う人びととともに、核と核戦争を絶対に許さない世界に使命を負っている。世界には約1万数千発の核弾頭がある。核をゼロにするか、人類をゼロにするかの深刻な分岐点に立っている。(村井勝)

# (寄稿) 日米安保・沖縄・台湾 伊東武是さんに聞く② 誰も戦争を望まない

「台湾有事を日本の有事にしてはならない」「沖縄に本当に基地が必要か」。伊東武是さん(元裁判官)の連載第2回。新安保法の集団的自衛権行使のシナリオ、日中不戦こそ平和と歴史の教訓などに言及してもらった。(本誌編集委員会)

## 新安保法と自衛隊の出勤

### 自衛隊の出勤

台湾有事の場合に、新安保法がどう適用されるか、具体的にどうしているのか、具体的には、自衛隊の全部又は一部の出勤を命ずることができる。この場合においては、(武力攻撃事態等及び存立危機事態)における我が国の平和と独立並びに国及び国民の安全の確保に関する法律(平成十五年法律第七十九号)第九條の定めるところにより、国会の承認を得なければならぬ。我が国に対する外部からの武力攻撃が発生した事態又は我が国に対する外部からの武力攻撃が発生する明白な危険が切迫していると認められるに至った事態

【自衛隊法76条1項】  
1 内閣総理大臣は、次に掲げる事態に際して、我が国を防衛するため必要があると認めるときは、自衛隊の全部又は一部の出勤を命ずることができる。この場合においては、(武力攻撃事態等及び存立危機事態)における我が国の平和と独立並びに国及び国民の安全の確保に関する法律(平成十五年法律第七十九号)第九條の定めるところにより、国会の承認を得なければならぬ。

要件が満たされたときに存立危機事態といわれるものです。三つのシナリオ

台湾有事がこの法律の適用により日本の有事となる、すなわち自衛隊の出勤となるシナリオとしては、おおまかにみて三つあると思います。

### 戦争への流れに身を任せない

どのシナリオにせよ、これは日中戦争の勃発という大変な事態でありまして、戦後70数年一切戦争をしなかった日本が、ついに戦争を始めるという事態です。私たちは、この結論を容認するのでしょうか。

二つ目のシナリオ 台湾有事になったとき、これを支援しようとしたアメリカ軍が攻撃を受けた、そのとき、アメリカと日本とが密接な関係があるうえ、米軍への攻撃が日本の存立危機事態を発生させたとして、同じく二号の集団的自衛権を発動するというもの。アメリカを支援するための集団的自衛権の行使です。

三つ目のシナリオ 台湾と中国が紛争になったとき、日本がかねがね台湾に加担すると言ってきたので、攻撃を仕掛けてくるかもしれないと中国が警戒して、「やられる前にやっつしまおう」と台湾に近接する琉球弧の自衛隊新基地などに先制攻撃をかけてくる。そうすると、日本が武力攻撃を受けたことになるので、一号の自衛隊出勤をするというものです。

中国の台湾への武力行使については、台湾独立を支持する多くの日本人は中国を非難していません。ならば、中国側が悪発させたとして、同じく二号の集団的自衛権を

発動するのでしょうか。そうではないと思います。

台湾有事の場合の戦争は、沖縄や南西諸島のみなさんには気の毒ですが、戦闘はどちらの方面だけで行なわれ、「本土

は大丈夫だから、さほども決して中国との戦争を重大事と考える必要はない」という人もいます。憲法9条のもとです。その樂觀的な見方で平和に暮らしたいと願う日本人は、中国との戦争もノーです。私は、多

くの日本人の心をそのよ

うに理解します。日本を

と同じ考え方は許される

ことでしょうか。いや、

正しくはないし、許される

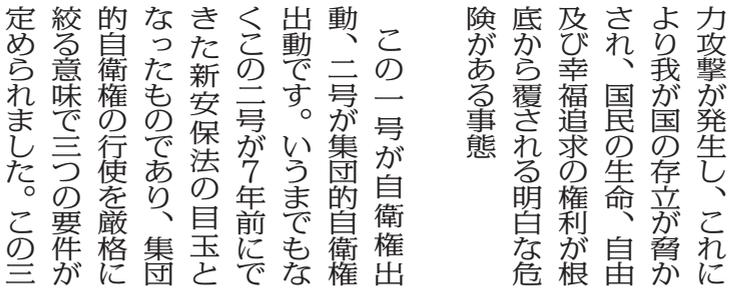
はずはありません。国民

的基盤があります。

「フログ」隠居老人の日記

確かに言えることは、

中不戦祈願参照ノード、小見出しは本紙)



この一号が自衛隊出勤、二号が集団的自衛権発動です。いうまでもなくこの二号が7年前にく



講演する清水早子さん(5月15日、大阪市)

航空自衛隊基地には、まるで核シェルターのような地下3階の建造物が作られている。本集会の前に主催者である「STOP! 辺野古新基地建設! 大阪アクション」は、大阪駅前、玉城知事の「設計変更不

## 南西諸島の軍事要塞化 再び戦場にするのか

5月15日、「軍事要塞化とたたかう琉球弧の子々」お話は清水早人々「宮古島の自衛隊ミサイル基地反対運動」と島住民連絡会「事務局長。関西出身で28年前に宮古島に移り住んだ。多くの画像を用いて、沖縄・宮古島のたたかひの様子、宮古島の航空自衛隊基地建設の実態などを伝えた。

「再び沖縄が戦場になるのか」という危惧が、現実のものになるかもしれないと感じた。集会の最後に、「宮古島に行こう」というアピールも。集会后、梅田までのデモ行進した。(堀ちえこ)

## 新基地は必要か

### 辺野古行動 神戸

5月21日 三宮・マルイ前「辺野古の海に基地をつくらせない神戸行動」。曇り、参加者は16人、署名19筆。沖繩・宜野座の親子が声をかけてくれた。若い人が「私たちは何にも知らない」と熱心に話を聞いた。残念だが基地は必要」という人も。



5月28日 夏本番。参加者19人、署名32筆。「愛知だけど署名してもいいですか?」。中学生が「沖縄について学びたい」。沖繩の人が「50年でも、何も変わっていない」と嘆いていた。本土で基地反対を! (庄)

て、弾薬庫ではないかと承認」を支持するアクションをおこなった。5月15日は沖縄が日本に返還された日だが、その日の安全基準の2000倍の基地負担は軽減されないばかりか、米軍の辺野古新基地建設をはじめ与那国島、石垣島、宮古島、奄美大島、馬毛島への自衛隊配備、ミサイル基地などの整備が進められ、基地負担が増大している。そのことが清水さんのお話で良く分かった。「再び沖縄が戦場になるのか」という危惧が、現実のものになるかもしれないと感じた。集会の最後に、「宮古島に行こう」というアピールも。集会后、梅田までのデモ行進した。(堀ちえこ)

# 維新問題と左翼の課題 (第5回) 請戸耕市

## 「企業は株主に報いる 雇用は考えない」

「改革なくして成長なし」など、この30年来、「改革」が叫ばれてきたが、賃金は上がらず、経済は停滞したまま。どうして? 何をどう「改革」してきたのか? 改めて検討し、維新の位置も確認しよう。

「改革」という場合、大抵だ。我々はそんな気持ちで3つの側面に整理できている。(1)雇用重視から株主重視への企業経営の転換。(2)賃金主導型から企業利潤主導型への経済政策の転換。(3)公的サービス削減や民営化で、(1)(2)に対応する制度転換。以下では主に(1)(2)に言及する。

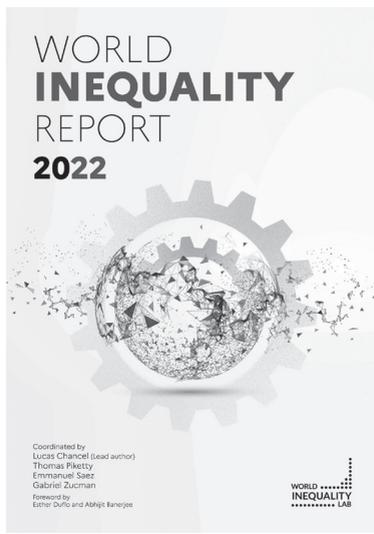
(1)株主重視へ 経営観の転換 「企業は、株主にだけ報いるのだ。雇用や国のあり方まで経営者が考える必要はない」(宮内義彦・オリックス社長。当時)「それはあなた、国主を抑えつつ、雇用や賃金を曲がりなりにも重視する」というものだった。それには、株主重視の経営とは、宮内の言うように「企業は株主に報いる。雇用は考えない」という経営観だ。これがグローバル化に対応した「改革」の基本思想であり、新自由主義の核心だ。株主とは、投資ファンドや機関投資家など、主に海外投資家。国家の規制を受けず、グローバルに展開し、資本の収益率だけを基準に投資先を取捨選択しているグローバル資本。グローバル資本は、雇用や社会がどうなるか、安全や環境がどうなるかなどに一切関心がない。収益率の観点だけから、労働者保護規制の緩和を要求し、非正規雇用に置き換え、労働コスト削減を徹底する。株主の利益最大化が経営者の役割で、それができない経営者は株主によって解任される。

この20年以上、賃金が上がっていない理由は、端的に、グローバル資本が企業を支配して利益を奪い、賃金に回さないからなのだ。

(2)投資家・経営者 優遇へ 経済政策の転換 資本主義は、国家として、経済を成長させる政策が必要だ。それには大別して2つの型がある。一つは「賃金主導型」成長戦略、今一つは「企業利潤主導型」成長戦略。

賃金主導型は、賃上げをテコに需要を拡大し、もって企業の利益も拡大し、経済全体の成長を実現していく戦略。多かれ少なかれ、全体が利益を得るといえる考え方。ここでは、強い労働組合や労働者保護規制が大きな役割を果たす。70年代までは米欧日ともこのような考え方があった。

対して、企業利潤主導型は、投資家・経営者を減税などで優遇し、企業活動にたいする規制を撤廃し、資源を企業に集中し、とにかく企業の利益増大を追求する。そうすれば、やがて、経済全体も成長するし、労働者にも利益が配分されるだろう(トリクルダウン)した



「トリクルダウンは起こらない」 (「世界不平等レポート2022」)

この20年以上、賃金が上がっていない理由は、端的に、グローバル資本が企業を支配して利益を奪い、賃金に回さないからなのだ。

「仮説」というより落ちる「仮説」というもの。80年代に、アメリカが企業利潤主導型への転換を開始し、90年代後半には日本も追随した。

この戦略の中心は、労働者保護規制を緩和・撤廃し、労働組合を弱体化させ、労働者を激しい競争にさらすことで、労働コストを徹底的に削減することだ。グローバル化は、相対的に高賃金の先進国労働者を切り捨て、低賃金の新興国労働者に取り換える方向で進むので、労働コスト削減のムチとして決定的だ。そしてこの戦略の旨味は、企業が技術革新の投資と努力をせざるを得ない。それがもたらす結果は、すさまじい格差の拡大と国内

こんな政策を理論的に支えているのが「トリクルダウン仮説」だ(次回「企業利潤最大化を要求するグローバル資本は、企業利益が増大しても、その利益が持ち去る。トリクルダウンは起こらない」ということは、トーマス・ピケティらの調査(「世界不平等レポート2022」)でも実証研究されている。

結局、これを貫く考え方も「株主に報いる。雇用は考えない」だ。つまり、労働者を犠牲にし、経営者・投資家は自分の分の富だけ最大化、社会全体の富は増えない。それがもたらす結果は、すさまじい格差の拡大と国内

経済の長期停滞だ。国内に見切り この間、安倍、菅、岸田の各政権が、「改革」を掲げ、各々経済政策を打ち出してきたが、経済は一向に好転していない。しかし、政策の失敗ではない。それが狙いなのだ。グローバル資本の要求に応え、賃金を抑制する観点から、国内経済は停滞でよいのだ。国内市場で成長する時代は終焉(経産省2010年6月)と明言するように、人口減少の進む国内には見切りをつけ、グローバルな競争に活路を見いだすとして、国内の製造業や農業は淘汰、残るのは貿易できないサービス業。そのまじい格差の拡大と国内

この間、安倍、菅、岸田の各政権が、「改革」を掲げ、各々経済政策を打ち出してきたが、経済は一向に好転していない。しかし、政策の失敗ではない。それが狙いなのだ。グローバル資本の要求に応え、賃金を抑制する観点から、国内経済は停滞でよいのだ。国内市場で成長する時代は終焉(経産省2010年6月)と明言するように、人口減少の進む国内には見切りをつけ、グローバルな競争に活路を見いだすとして、国内の製造業や農業は淘汰、残るのは貿易できないサービス業。そのまじい格差の拡大と国内

### グローバル企業が食を支配

京都橋大教員 平賀緑さんが講演

「食べものから学ぶ世界史」の著者、京都橋大教員・平賀緑さんが滋賀県大津市で講演した。(5月21日、戦争をさせない1000人委員会しが主催の連続市民講座)



ウクライナ戦争が始まって小麦の値段が急騰しているが、世界には備蓄もあり、ウクライナ産の比率を考えても、直ちに問題になることはない。問題は、食の金融化、グローバル化が進んでいることだ。小麦の価格が決まっているのは遠くはなれたシカゴの市場だ。4つのグローバル企業が

ここで労働者を非正規で雇用する。安価な生活物資の輸入で、労働者を食わす。これが各々の政策に共通する基調だ。

この基調の下で、安倍が行ったのは、わけても円安誘導だ。円安で輸出価格が上昇、しかし賃金に反映させない。よって企業の利益は増大、株主は上昇するというものだった。昔の場合、中小企業の「新陳代謝」。従来の日本経済は、中小企業の技術と低賃金構造に支えられてきた。それを新陳代謝するとは、グローバル競争に対応しうる選ばれた業態・企業は公的に支援し、それ以外は淘汰ということだ。

岸田の場合、「格差解消」と呼ばれる。新大陸で大量生産された小麦などはヨーロッパの賃金労働者向けの安価な食料として輸入された。このようにして資本主義的な生産を支える国際的分業貿易体制が形成された。

第2次フードレジームは1947〜73年。アメリカを中心に、大規模経営で過剰生産された小麦や大豆などが、畜産業や加工食品産業の複合体を通じて、日本やヨーロッパ、途上国に広がった。こうした農業食料関連の多国籍企業が存在し、金融化、デジタル化、グローバル化が進んでいる。昨年、ビルゲイツが米国最大の農地面積を所有する大地主になった。

ネガティブな話だけではない。滋賀県では、給食の小麦が100パーセント県産になった。これは誇るべきことだ。地域に根ざした食と農から、世界のシステムを変えていこう。

世界の穀物の90パーセントを支配している。こうした資本主義による人間と地球の破壊は、大航海時代と産業革命の頃から始まった。奴隷労働による小麦や砂糖の大規模生産と都市労働者の大規模消費の始まりである。主食がジャガイモではなくて小麦なのは支配者に都合がよいからだ。備蓄が容易で、計量も簡単だ。コメについても同じことが言える。

1870〜1914年

1870〜1914年

# ここは我々が生きて 生きて守る場所

## ——ウトロ平和祈念館オープン



「ウトロに生きる ウ 合いながら生きてきたの トロで出会う」をテーマ

に、在日コリアンが多く 去年8月30日に起きた

集まる京都府宇治市のウ 放火事件で、貴重な歴史

トロ地区の歴史を伝える 的資料が多数焼失。歴史

「ウトロ平和祈念館」(田 館の田川館長は、「犯人

川明子館長)が、4月30 が実際にウトロの人と出

日オープンしました。 会っていたら、こんなこ

ウトロ地区は1941 とをしなかったかもしれ

年、日本政府が、京 ない。まずは出会うこと

都軍事飛行場建設に、 だ」と語っています。

### 「飯場」を再現

1300余人の朝鮮人を 鮮半島と日本社会に関す

動員した結果、不毛の地 る幅広いテーマを予定し

の上に建設された朝鮮人 ているようです。3階の

の集落です。朝鮮人た べランダから会館の周り

は、昼夜、過酷な労働を に見ることが出来ます。

に建てられ、1980年 南側からは飛行場の後に

強いられた。工事は できた陸上自衛隊大久保

日本の敗戦で中断。何の 駐屯地を一望できます。

保障ももらえず、この地 4月30日から5月5

域を第二の故郷に、助け 日までウトロウィーク

いたポンプがあ だ、劇団タルオルムのマ

ります。 ダン劇「ウトロ」、ウト

1階は交流の 口出身歌手の鄭雅美さん

ための多目的 のミニコンサート、映画

ホール(ウトロ 「ウトロ」家族の街」上

カフェ)。人び 映、安聖民さんのパンソ

とが集うイベン リ、そして川口真由美さ

トや学習会が開 んや東九条マダン、京都

かれます。 朝鮮歌舞団のお祝いコン

2階は、常設 サートがおこなわれまし

展示室で、ウ た。 3年前に始めてウトロ

と生活の様子や、 地域を揺るがし

ウトロ平和祈念館のフェイスブックより



3年前に始めてウトロ地域を揺るがし

を訪ねたとき、フィールタルオルムのマダン劇

今回は、済州島の民衆歌手、チェサンドンさんが

「ここは我々が生きて 劇にしています。1時間

と、元の住み慣れた住居 ほどの劇の中に、差別の

問題や国籍の問題など盛 りました。そのハルモニも

一昨年の秋に亡くなられ ました。2階の常設展示

室でハルモニのパネルが 笑顔で迎えてくれます。

今年、5月1日、劇団

福島県では2011年 歳の)が、東京電力に対し

10力所以上もリンパ節に 転移してしまいました。傷痕

は耳の下までの広範囲に。 一生続くかもしれない治

進学や就職という人生の 節目に手術や入院を経験

その結果、約300人が 甲状腺がん、あるいはそ

の疑いと診断されまし 孤立してきました。6人

の声を聞いてください。 Rさん(25歳男性)「手

術の難しいタイプと言わ れました。4回手術を重



三里塚「産直野菜」は無機無農薬。毎週・隔週、「お試しセット」あり。

【お問い合わせ】 TEL/0799-72-5242 E-mail/kanjitsu\_mail@yahoo.co.jp

## 子ども甲状腺がん裁判 6人の原告を支えよう



視線

治療では、隔離中、激しい副作用に襲われて何度かスコールを鳴らしても来

「取ってしまえば大丈夫」という言葉を信じて、スコールを鳴らしても来

「検査の打ち切り」を 言い始めています。

これに対して1月27日、 切除する寸前でした」

Mさん(24歳女性)「2 回目の手術で、がんは

「ここは我々が生きて 劇にしています。1時間

「ここは我々が生きて 劇にしています。1時間

「ここは我々が生きて 劇にしています。1時間

「ここは我々が生きて 劇にしています。1時間

「ここは我々が生きて 劇にしています。1時間

トガシさんの「沖縄便り」③④

求めた自治まだ遠い

5月15日は、復帰50年... あの日は、同じように...

そういう中、式典のた... 当時、私は母方の叔父...

ました。

復帰が近くなると叔父... 復帰が近くなると叔父...

復帰に伴い本土大手が進... 沖繩開発庁長官などを歴...

長知事も辺野古新基地の... ウェーの発言のくだり、

復帰時点で詰めが浅... ことを念頭に、「沖縄の...

沖繩が米軍統治に置か... 復帰数年、あれやこれ...

沖繩が独立する場合は、... 一度独立した国民国家に...

長知事も辺野古新基地の... ウェーの発言のくだり、

まい・しよっと (29)



(撮影 5月、明石市内／のぶ)

60年安保の後に、西田佐知子の歌『アカシアの雨がやむとき』が流行った。

樹下に佇む

渡辺信雄

伐られた腕の断面を剥き出しに... 無言で天へ突き出している...

つまり全体を知り、述懐... 独立だ」と切り返すチャ...

当時、日本復帰ばかり... 復帰後、権威を振りかざす官僚と...

小学生のころ、姉の友... だちが沖繩から手紙をエ...

「米軍が恐れた不... 屈の男」瀬長亀次郎の...



「米軍が恐れた不屈の男」瀬長亀次郎の生涯

独立だ」と切り返すチャ... 復帰から50年、沖縄の...

「焼きすてられた日の丸... 丸(社会批評社) 現在...

「米軍が恐れた不... 屈の男」瀬長亀次郎の...

「米軍が恐れた不... 屈の男」瀬長亀次郎の...

な意見も見聞した。

復帰から50年、沖縄の... 困難は続くが、求めた自...

「米軍が恐れた不... 屈の男」瀬長亀次郎の...

「米軍が恐れた不... 屈の男」瀬長亀次郎の...

イクサ場

の記憶に、日本の今を... 写真、横断幕がワンパ...

「米軍が恐れた不... 屈の男」瀬長亀次郎の...

「米軍が恐れた不... 屈の男」瀬長亀次郎の...

樹下に佇む... 渡辺信雄

「米軍が恐れた不... 屈の男」瀬長亀次郎の...

「米軍が恐れた不... 屈の男」瀬長亀次郎の...

「米軍が恐れた不... 屈の男」瀬長亀次郎の...